

どうしてむし歯になるの？

口の中にはむし歯菌がすんでいます。むし歯菌は歯のすき間などに残った食べカスを食べ、糖分を分解してネバネバした歯垢（プラーク）をつくり、その中で増えます。さらに、むし歯の原因となる酸を作り、歯を溶かします。歯垢の付着は素早く、食事のすぐ後から始まります。

ただし、口の中にはいつも唾液が流れていて、歯についた汚れも洗い流しています。また、歯はいったん溶け出しても、唾液の中からカルシウムやリンなどを取り込み、再石灰化して元に戻る力をもっています。でも、歯磨きをしないで古い歯垢をためていたり、甘いものをたくさんとる習慣があると、再石灰化が追いつかず、むし歯になってしまいます。



※お口の中は食事のたびに、脱灰（歯が溶ける）と再石灰化（唾液作用による再生）を繰り返します。

食事中は唾液がたくさん出るようによく噛んで食べ、
食べたらすぐに歯を磨きましょう。

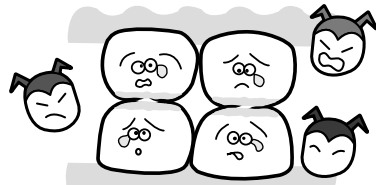
むし歯菌はこういう所が大好き！

歯と歯の間



すき間は汚れが深く入り込み、むし歯菌にとっては最高の繁殖場所！むし歯菌は、汚れを養分にしてどんどん増えます！

歯と歯が噛み合う面の溝



奥歯は良く使う歯なので汚れやすく、特に噛み合う部分の溝は汚れがたまりがちで、むし歯菌のすみか！

歯の生えぎわのくぼんだ部分



歯と歯くぎのさかいめで、歯ブラシが当たりにくいところです。ここにむし歯菌がすみついてしまいます！

定期的に歯科医院での
診査を受けましょう。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

6 2009年
月号



6月といえば歯科では6月4日の『むし歯予防デー』あらため『歯の衛生週間』にあわせ、歯とお口の健康に関心が寄せられる時期です。

新学期から歯科検診も保育園・幼稚園、各学校で始まり、検診でチェックを受けた方たちもお見えになります。久しぶりの来院なのにきれいなお口の方もいれば、せっかく完治したのに指導を守らず、なおかつメンテナンスに通わなかった為に悲惨な状態になっていたり、こちらとしても『悲喜こもごも』です。

最近のニュースをにぎわした新型インフルエンザも、冬に流行するインフルエンザと同様の予防方法（うがい、手洗い、体調管理）、治療で良いと言われています。一方、むし歯、歯周病の予防も日常の食生活、歯の清掃などの習慣が大切です。予防の面から考えれば、常日頃の予防、ケアの習慣が大切だと言う事が似ていますね。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日
変更の
お知らせ

- ・6月13日(土) 午後3時まで
- ・7月4日(土) 午後休診
- ・8月12日(水)～17日(月) 夏期休業の予定です

こみや歯科

☎ 03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>
ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp